

平成17年度 年報

事業報告

展覧会事業

・常設展

第1期 2005年4月1日(金)～6月26日(日)

前期:4月 1日(金)～5月15日(日)

後期:5月17日(火)～6月26日(日)

展示室1 岩絵具と油絵具

展示室2 静かで小さな動物園

展示室3 ザ・すわる!... プラス深澤索一

第2期 2005年7月1日(金)～9月25日(日)

前期:7月 1日(金)～8月 21日(日)

後期:8月23日(火)～9月25日(日)

展示室1 前期 良寛をめぐる人たち

後期 近現代の宗教表現

展示室2 文字と言葉

展示室3 子どもの世界

第3期 2005年9月27日(火)～12月25日(日)

前期: 9月27日(火)～11月13日(日)

後期:11月15日(火)～12月25日(日)

展示室1 事件です!

展示室2 中越の作家たち

展示室3 前期 特集 エルンスト・バルラッハ

後期 版画に表された戦争～カロ・ゴヤ・グロス～

第4期 2006年1月4日(水)～3月26日(日)

前期:1月 4日(水)～2月12日(日)

後期:2月14日(火)～3月26日(日)

展示室1 麻田鷹司と横山操

展示室2 描かれた雪

展示室3 もう一つの亀倉雄策展

・企画展（詳細はトップページの「今までの展覧会」を御覧ください。）

県民の美の財産Ⅲ 作品をひもとく

2005年4月23日(土)～6月5日(日)

良寛遺墨展－御三家を中心に－

2005年7月16日(土)～8月21日(日)

ケーテ・コルヴィッツ展－未来の種たちへ

2005年9月3日(土)～10月23日(日)

昭和の美術 1945年まで－〈目的芸術〉の軌跡

2005年11月3日(木)～12月11日(日)

離陸/着陸 亀倉雄策のデザイン 残された資料・遺品より

2006年1月28日(土)～3月21日(火・祝)

・共催展

第60回新潟県美術展覧会長岡展(新潟県立近代美術館)

2005年6月11日(土)～19日(日)

第36回新潟県ジュニア美術展覧会

長岡展 2006年1月6日(金)～1月18日(水)

普及事業

・新潟県立近代美術館巡回ミュージアム

巡回ミュージアムは当館の収集活動及び成果を周知するとともに、広く県民に美術鑑賞の機会を提供し、文化振興をはかることを目的としている。平成17年度は「お届けします！名品を。」というテーマで、日本画・洋画・版画・彫刻・工芸の各分野から約20点～30点(会場ごとにリストを変更)の作品を展示した。東山魅夷、加山又造といった日本画、パブロ・ピカソ、前田寛二の洋画

のほか星譲一の版画、市橋敏雄の工芸、明田川 孝の彫刻など幅広く作品を選び、日頃美術館に馴染みのない方にも楽しんでいただける、親しみやすい展覧会になるよう配慮した。

特に今年度新たに地区公民館ではなく中学校を会場として日帰りで実施した点が大きく変わった点である。1日という短い時間ではあるが、常に会場は子ども たちが入れ替わりで鑑賞し、毎回学芸員による解説を行った。美術館と湯之谷地区の皆さんとの距離が一気に縮まる手ごたえを感じた企画であった。

- ・五泉市総合体育館 10月29日(土)～11月3日(木)
- ・魚沼市立湯之谷中学校 10月26日(水)
- ・上越市三和スポーツセンター 11月5日(土)～11月13日(日)

・震災復興1周年記念イベント「ハンカチアートプロジェクト」

このイベントは、阪神大震災復興10年イベントとしての企画を、中越大震災から1年を迎える長岡につなげようという考えから新潟県立近代美術館に提案され、美術館の震災復興1周年企画として開催することとなった。

企画、実施したのは、国内外でハンカチアートを展開している藤原洋二郎氏と制作集団ROUTE-B。

美術館には2つのハンカチアートが作られた。一つは全国から寄せられたハンカチをつなぎ合わせ、多くの人のネットワークを形にする壮大なハンカチアート で、あさご芸術の森美術館、兵庫県立美術館、そして新潟県立近代美術館へとリレーされた6万枚のハンカチによって美術館企画展示室外壁約800平方メートルが包まれた。二つ目は、阪神・淡路大震災と中越大震災の被災者の復興へのメッセージが書かれたハンカチが7千本の竹の竿にくくりつけて地面に立て、ハートの形に作られた。これに阪神大震災後に環境防止科が設置された兵庫県立舞子高校と、被災した県立長岡大手高校と県立小千谷高校の生徒たちが手書きした復興メッセージが書かれたハンカチが加わった。

美術館の建物全体を包んだ約6万枚ものハンカチは、太陽の光と風をはらんで、大きくうねり、驚きの声を上げる人が多くいた。またハンカチに書かれたメッセージを熱心に読む人から感謝や復興への決意の声が聞かれた。制作にも長岡大手高校の生徒や、美術館友の会の会員や、通りがかりの人々が加わり、交流する姿も見られるなど被災された人々を始め多くの来館者にとって復興の励みとなるイベントになった。

現場制作 10月18日(火)～21日(金)

公開 10月22日(土)、23日(日)

企画・制作 藤原洋二郎氏(造形作家・川崎医療福祉大学教授)

制作集団 ROUTE-B[JOYNT]
長岡大手高校生徒
県立美術館友の会会員
兵庫県舞子高等学校
協力 兵庫県舞子高等学校

講演会等のイベント

<講演会等>

7月31日(日) 午後2時～

良寛遺墨展講演会

講師 加藤僖一氏(全国良寛会副会長・新潟大学名誉教授)

演題 「良寛書の魅力 -展示作品を中心に-」

8月7日(日) 午後2時～

良寛遺墨展講演会

講師 内山知也氏(筑波大学名誉教授)

演題 「良寛書の楽しい味わい方」

11月23日(祝・水) 午後2時～

昭和の美術 1945年まで

講師 長田謙一氏(千葉大学教授)

演題 「〈美の帝国〉の夢 -ナチス・デザインと〈新体制〉日本」

<ワークショップ>

5月3日(火) 午前10時～午後4時

びじゅつ☆体験隊「自由につくろう」

内容 ボール紙で自由につくる紙工作。

7月23日(土) 午前10時～午後4時

「てまりづくりに挑戦！」

内容 外部指導者3名の協力による、〈てまりづくり〉ワークショップ。

8月14日(土) 午前10時～11時30分 午後2時～4時30分

びじゅつ☆探検隊「大きな字を書いてみよう！」

内 容 2m×10m位の大きさのボール紙に思いっきり大きな字を書くワークショップ。講師に内山玉延氏。

9月18日(土) 午前10時～11時 午後2時～3時

発見！びじゅつかん「め・い・ろ・な美術館 第4回」

内 容 館内に各所に設置された札に書かれている文字を探しながら美術館のあまり知られない一面と出会うワークショップ。

11月6日(土) 午前10時～午後4時

びじゅつ☆体験隊「ときめき☆ファッション」

内 容 縫製工場で不要となった山ほどの布を使い、思い思いの服や帽子などをつくつワークショップ。

平成18年2月5日(土) 午前10時～午後4時

発見！びじゅつかん「雪の中の野外彫刻めぐり」

内 容 雪に埋もれた野外彫刻を巡るオリエンテーリング。

<ミュージアムコンサート>

9月24日(土) 午後2時～

ケーテ・コルヴィッツ展公演

出演 たかべしげこ(朗読) 永松祐子(ヴィオラ)

演題 「朗読美術館:ケーテ・コルヴィッツ」

<映画鑑賞会>

第1回 10月8日(土)

『クーレ・ワンペ』

第2回 11月12日(土)

『加藤隼戦闘隊』

第3回 12月10日(土)

アート・ドキュメンタリー

『ボルタンスキーを探して』 ※ビデオ上映
『C.ボルタンスキーについて彼らが思い出すこと』

第4回 1月14日(土)
『音のない世界で』 ※ビデオ上映

第5回 2月11日(土)
アート・ドキュメンタリー
『レベッカ・ホルン』 ※ビデオ上映

第6回 3月11日(土)
『人情紙風船』

<美術鑑賞講座>

第1回 8月13日(土)午後2時～
「新潟県の良寛遺墨－良寛遺墨展から」
講師 松矢国憲(主任学芸員)

第2回 9月10日(土)午後2時～
「ケーテ・コルヴィッツ－人と生涯－」
講師 佐々木奈美子(主任学芸員)

第3回 9月17日(土)午後10時～午後4時
レコード・コンサート
「音楽・コルヴィッツの時代 1910-1940 1910年代から1940年代の音楽を聴く」
講師 小見秀男(学芸課長)

第4回 10月29日(土)午後2時～
「西洋美術史を彩る女性画家たち」
講師 今井 有(主任学芸員)

第5回 11月19日(土)午後2時～
「昭和初期の〈目的芸術〉」
講師 澤田佳三(主任学芸員)

第6回 11月26日(土)午後2時～

「日本神話」はどう描かれたか」

講師 長嶋圭哉(美術学芸員)

第7回 12月3日(土)午後2時～

「明暗法の秘密を探る」

講師 平石昌子(主任学芸員)

第8回 2006年1月28日(土)午後2時～

「欲望のオブジェーモダン・デザインの変遷」

講師 丸山 実(主任学芸員)

第9回 2006年2月25日(土)午後2時～

「亀倉雄策 戦前・戦中・戦後のデザイン」

講師 宮崎俊英(学芸課長代理)

<作家による美術鑑賞講座>

10月1日(土) 午後2時～

「印象派の空間意識」

講師 鈴木 力氏(画家・一陽会委員)

10月22日(土) 午後2時～

「絵画の模写」

講師 山本真也氏(画家・新潟大学教授)

<館長による美術史連続講座> 講師 水野 敬三郎(館長)

第1回 9月3日(土)午後2時～

「定朝以前—和様彫刻への道」

第2回 10月15日(土)午後2時～

「定朝—和様彫刻の完成」

第3回 11月5日(土)午後2時～

「定朝以後—院政期の彫刻」

<刊行物>

平成 17 年度 展覧会案内リーフレット

仕様: A4 版 四つ折り

発行部数: 40,000 部

各展覧会図録

◇良寛遺墨展

仕様: A4 版変形 本文 212 頁

発行部数: 1,900 部

◇昭和の美術 1945 まで

仕様: B5 版変形 本文 204 頁

発行部数: 1300 部

巡回ミュージアム 鑑賞の手引き

—おとどけします。名品を—

仕様: A3 版 四つ折り

発行部数: 5,000 部

新潟県立近代美術館便り「雪椿通信」

◇第 24 号

仕様: A4 版 8 頁

発行部数: 4,000 部

発行日: 平成 17 年 4 月 1 日

◇第 25 号

仕様: A4 版 8 頁

発行部数: 4,000 部

発行日: 平成 17 年 9 月 1 日

年報

◇新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館 年報 平成 16 年度

発行部数: 500 部

仕様: A4 版 本文 136 頁

研究紀要

◇第 7 号

発行部数:400 部

仕様:A4 版 本文 50 頁

<作品解説会等>

良寛遺墨展

音声ガイドを導入したため、会場内での解説会は行わず、講堂にて希望 16 団体(480 名)に会期中随時行った。松矢国憲(主任学芸員)、今井 有(主任学芸員)

コルヴェッツ展

10 月 2 日(日)解説会 平石昌子(主任学芸員)

10 月 16 日(日)解説会 平石昌子(主任学芸員)

10 月 23 日(日)解説会 佐々木奈美子(主任学芸員)

昭和の美術展

11 月 6 日(日)解説会 澤田佳三(主任学芸員)

12 月 4 日(日)解説会 長嶋圭哉(美術学芸員)

<ハイビジョンシステム>

当館では、所蔵品展示の他に所蔵作品を通して美術についての理解を深めるため、ハイビジョンシステムを導入し、無料で利用できるサービスを行っている。このシステムは、ハイビジョンとして記録された映像番組を端末装置により自由に選択し、110 インチ大 型ハイビジョン画面と 61 インチ液晶モニターで鑑賞できるシステムとなっている。またギャラリー2の 61 インチ液晶モニターは可動式となっており、館内各所に移動することができる。

データベースシステムは、高品位映像と文字情報による収蔵作品の検索システムであり、作品画像と検索データは 18 インチ液晶モニターで見ることができる。

【ハイビジョンギャラリー】

ギャラリー I

110 インチの大型画面 40 席

ギャラリー II

60 インチの中型画面 4 席(車椅子スペースあり)

【データブース】

18. 1インチ画面 マウス方式

文字情報は印刷可能

検索は作家名による検索、作品名による検索

全1766作品

※平成15年度新規入力データ 72作品

【ハイビジョンギャラリー上映番組】

●新潟県立近代美術館オリジナル番組 10タイトル

(ギャラリー I、II)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 カリアティードとアトラント | オーギュスト・ロダン |
| 2 新しい絵画への預言 | ポール＝エリー・ランソン |
| 3 創造と抵抗のはざままで | ケーテ・コルヴィッツ |
| 4 日本洋画の開拓者たち | 大光コレクション |
| 5 近代日本洋画の黎明 | 小山正太郎とフォンタネージ |
| 6 北蒲原に生きた画家 | 佐藤哲三 |
| 7 館所蔵作品に見る近代日本画の画家たち | |
| 8 内なる心の美 | 土田麦僊 |
| 9 情熱と行動の画家 | 横山操 |
| 10 蠟型鑄造の世界 | 新潟の金工 |

●オルセー美術館 I

●オルセー美術館 II

●オルセー美術館 III

●フィレンツェ・ルネサンス

●エルミターージュ美術館 I

●エルミターージュ美術館 II

●連作の魅力

その他上映可能なメディア(ギャラリー I、II)

ハイビジョン VTR、ハイビジョン LD、ハイビジョン衛星放送

案内画面(ギャラリー I、II)

展覧会の案内やイベント等を情報表示画面により利用者に告知

収集・保存

平成 17 年度収集作品

◆表中の * 印の作品については、新潟県立万代島美術館が収集業務を担当した。

「世界の美術」

「日本の美術」

- *工芸 熊井恭子 DRAPE・G 1989(平成元) ステンレス・スチール 200×130 寄贈
- *工芸 熊井恭子 DRAPE・S 1989(平成元) ステンレス・スチール 200×130 寄贈
- 工芸 宮田宏平 終わりのない物語「五合庵の昼寝」 1994(平成6) ろう型鑄金・白銅・アクリル
33.8×45.5×42.5 寄贈
- *デザイン 勝井三雄 視覚の地平 visionary∞scape 2004(平成16) シルクスクリーン
103.8×73 亀倉雄策賞事務局寄贈
- *デザイン 勝井三雄 視覚の地平 visionary∞scape 2004(平成16) シルクスクリーン
103.2×73 亀倉雄策賞事務局寄贈
- *デザイン 勝井三雄 VISIONARY GENE+m-a 2005(平成17) シルクスクリーン 103.2×73 亀
倉雄策賞事務局寄贈
- *デザイン 勝井三雄 VISIONARY GENE+m-b 2005(平成17) シルクスクリーン 103.2×73 亀
倉雄策賞事務局寄贈
- *デザイン 勝井三雄 VISIONARY GENE+m-c 2005(平成17) シルクスクリーン 103.2×73 亀
倉雄策賞事務局寄贈

「新潟の美術」

- 油彩画他 安宅安五郎 シャバンヌ模写(冬) 1921(大正10) 油彩・キャンバス 47.5×86 安宅
和子氏寄贈
- 油彩画他 安宅安五郎 シャバンヌ模写(春) 1921(大正10) 油彩・キャンバス 50×90 安宅
和子氏寄贈
- 油彩画他 安宅安五郎 アネモネ(ルドン)模写 1921(大正10) 油彩・キャンバス 45.1×37.3
安宅和子氏寄贈
- 油彩画他 安宅安五郎 船(裏に「風景」) 1921(大正10) 油彩・ボード 40.5×52 安宅和子氏
寄贈
- 資料 安宅安五郎 あさがお 昭和10年代 油彩・キャンバス 45×37.6 安宅和子氏寄贈
- 資料 安宅安五郎 杉林 昭和10年代 油彩・キャンバス 53×45.5 安宅和子氏寄贈
- 資料 安宅安五郎 動物 昭和10年代 油彩・キャンバス 53×45 安宅和子氏寄贈
- 資料 安宅安五郎 寺 昭和10年代 油彩・キャンバス 53×45 安宅和子氏寄贈

- 資料 安宅安五郎 風景 昭和 10 年代 油彩・キャンバス 60.6×80.4 安宅和子氏寄贈
- 資料 安宅安五郎 舞子 昭和 10 年代 油彩・キャンバス 60.6×41 安宅和子氏寄贈
- 資料 安宅安五郎 明治神宮外苑 昭和 10 年代 油彩・キャンバス 60.6×72.8 安宅和子氏寄贈
- 資料 安宅安五郎 山と畑 昭和 10 年代 油彩・キャンバス 53×45 安宅和子氏寄贈
- 資料 安宅安五郎 山の桜 昭和 10 年代 油彩・キャンバス 53×45.5 安宅和子氏寄贈
- 資料 安宅安五郎 林道 昭和 10 年代 油彩・キャンバス 53×45 安宅和子氏寄贈
- 資料 安宅安五郎 夕方の橋 昭和 30 年頃 油彩・キャンバス 60.6×80.4 安宅和子氏寄贈
- 資料 安宅安五郎 川田啓一郎氏像 1954(昭和 29) 油彩・キャンバス 65.2×53 安宅和子氏寄贈
- *油彩 阪本文男 酒楽 1958(昭和 33) 油彩・キャンバス 227.3×162 阪本玲子氏寄贈
- *油彩 阪本文男 ヘルマフロデイトス—赤による 1967(昭和 42) 油彩・キャンバス 130×162 阪本玲子氏寄贈
- *版画 阪本文男 版画集「余白の系」5 点組 1982(昭和 57) リトグラフ 41×28.5(画寸) E.A.Ⅲ/X 阪本玲子氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 奥只見を望む 1970 年代 モノクローム・プリント 44.5×62 蕪木美智枝氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 流水(オホーツク)作品 1979 1979(昭和 54) モノクローム・プリント 40.5×53.5 蕪木美智枝氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 流水(オホーツク)作品 1979 1979(昭和 54) モノクローム・プリント 40.5×53.5 蕪木美智枝氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 樹氷(奥飛驒)作品 1985 1985(昭和 60) モノクローム・プリント 40×53.2 蕪木美智枝氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 樹氷(奥飛驒)作品 1985 1985(昭和 60) モノクローム・プリント 40×53.5 蕪木美智枝氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 樹氷(奥飛驒)作品 1985 1985(昭和 60) モノクローム・プリント 39.8×53.2 蕪木美智枝氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 樹氷(奥飛驒)作品 1985-II 1985(昭和 60) モノクローム・プリント 55×41 蕪木美智枝氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 樹氷(奥飛驒)作品 1986 I-Ver.2 1986(昭和 61) モノクローム・プリント 55.2×44.2 蕪木美智枝氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 樹氷(奥飛驒)作品 1986 I-Ver.3 1986(昭和 61) モノクローム・プリント 55.8×42 蕪木美智枝氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 炎城 石廓崎 1991(平成 3) モノクローム・プリント 38×51.5 蕪木美智枝氏寄贈
- *写真 蕪木研爾 炎城 野焼き 1991(平成 3) モノクローム・プリント 39.3×50.2 蕪木美智枝氏寄贈

氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉空(陶壺) 1995(平成7) カラープリント 43.3×35.2

蕪木美智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉無(裸形) 1995(平成7) カラープリント 43×35.5

蕪木美智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉無(野焼陶壺) 1995(平成7) カラープリント

35.5×42.7 蕪木美智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉無(般若心経・碑) 1995(平成7) カラープリント

43×35 蕪木美智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉無(般若心経・佛塔) 1995(平成7) カラープリント

35.4×42.8 蕪木美智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉無 1995(平成7) カラープリント 42×34 蕪木美智

枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉無 1995(平成7) カラープリント 41.8×34 蕪木美

智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉無 1995(平成7) カラープリント 34×39 蕪木美智

枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉無 1995(平成7) カラープリント 42.6×35.2 蕪木美

智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉無 1995(平成7) カラープリント 35.5×43 蕪木美

智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉無 1995(平成7) カラープリント 41.7×34 蕪木美

智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉色(般若心経・仏塔) 1995(平成7) カラープリント

43×35.2 蕪木美智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉色(陶壺) 1995(平成7) カラープリント 41.9×35

蕪木美智枝氏寄贈

*写真 蕪木研爾 池田満寿夫〈般若心経〉色 1995(平成7) カラープリント 35.5×43 蕪木美

智枝氏寄贈

*資料 蕪木研爾 プリント 76点 蕪木美智枝氏寄贈

*写真 渡辺義雄 伊勢神宮〈内宮正殿正面床下柱と木階〉 1953/1996(昭和28/平成8) モノク

ローム・プリント 25×68(画寸)29.7×106(紙寸) 渡辺一雄氏寄贈

◆表中の * 印の作品については、新潟県立万代島美術館が収集業務を担当した。

収集担当別作品点数

	新潟県立近代美術館		新潟県立万代島美術館		両館合計点数
分野	各領域点数	合計点数	各領域点数	合計点数	
世界の美術	版画 50 資料 14	64(寄贈 64)			64(寄贈 64)
日本の美術	油彩画等 82 日本画 134 版画 245 工芸 3 水彩画 157 素描 210 書 78 資料 95	1004 (寄贈 1004)	工芸 2 デザイン 5	7(寄贈 7)	1011 (寄贈 1011)
新潟の美術	油彩画等 7 水彩 13 資料 17	37(寄贈 37)	油彩画等 2 版画 1 写真 26 資料 76	105 (寄贈 105)	142 (寄贈 142)
総合計		1105 (寄贈 1105)		112 (寄贈 112)	1217 (寄贈 1217)

相澤コレクション 作品内訳（作家・分野別） 相沢直人氏寄贈

総点数: 1,088 点

作家数: 94 人(世界の美術 10 人 日本の美術 78 人 新潟の美術 6 人)

「世界の美術」		
1	カポグロッシ、ジュゼッペ	11
2	シャガール、マルク	1
3	デュビュッフェ、ジャン	1
4	金昌烈	3
5	金淵奎	1

6	ルシュール	2
7	李禹煥	3
8	ミロ、ホアン	34
9	ネムヅォウ、オラフ	5
10	タマヨ、ルフィーノ	3
	小計	64
「日本の美術」		
11	襲嘔	71
12	相笠昌義	1
13	青山熊治	1
14	浅井忠	2
15	朝倉摂	1
16	麻生三郎	2
17	阿部展也	5
18	栗津杜子	5
19	池田満寿夫	3
20	伊藤久三郎	8
21	井上有一	2
22	今西中通	4
23	上野山清貢	1
24	牛島憲之	1
25	梅原龍三郎	1
26	瑛九	3
27	江口草玄	76
28	海老原喜之助	3
29	大沢昌助	7
30	大野吾郎	4
31	小柏龍太郎	6
32	小山田二郎	2

33	香月泰男	1
34	河内成幸	7
35	北川民次	33
36	木下晋	1
37	黒田征太郎	1
38	古賀春江	2
39	駒井哲郎	2
40	古茂田守介	1
41	坂倉新平	1
42	坂本善三	11
43	里見勝蔵	1
44	清水伸	2
45	清水登之	2
46	白髪一雄	9
47	菅井汲	5
48	杉全直	2
49	関川正七	4
50	芹沢銈介	5
51	高畠達四郎	2
52	谷中安規	30
53	烏海青児	5
54	塚谷恵津子	42
55	塚谷政義	17
56	鶴岡政男	1
57	鶴田吾郎	2
58	寺田政明	8
59	長崎莫人	202
60	永瀬義郎	1
61	中村忠二	56

62	中村直人	1
63	難波田龍起	74
64	難波田史男	123
65	野口謙蔵	1
66	野田哲也	20
67	野間仁根	2
68	野見山暁治	38
69	萩原英雄	2
70	長谷川利行	7
71	浜田信	2
72	浜田知明	1
73	原精一	1
74	舟越保武	1
75	前田寛治	1
76	牧野虎雄	1
77	松本竣介	1
78	三上誠	8
79	宮崎進	5
80	村山槐多	1
81	元永定正	1
82	森芳雄	2
83	安井曾太郎	1
84	柳原義達	3
85	矢部友衛	1
86	山口長男	36
87	萬鉄五郎	1
88	脇田和	3
	小計	1,003
「新潟の美術」		

89	岩田正己	2
90	桑原実	1
91	末松正樹	1
92	富川潤一	2
93	峰村リツ子	1
94	宮崎喜三	14
	小計	21
	合計	1,088

調査・研究

研 修

第12回美術館・歴史博物館学芸員専門研修会(第2年次)

「公私立の美術館・歴史博物館の学芸員や学芸業務を担当する専門職員等を対象に、学芸業務に関する専門的知識・技能の向上を図る研修を行い、もって美術館・歴史博物館の活動の充実に資する」

以上の趣旨により開催された研修に、当館から学芸員2名が参加した。

内 容

基礎科目

- I. 文化行政(世界文化遺産/美術館・博物館と文化財/文化財に係る国際条約)
- II. 美術館・博物館の現状と展望(特別講義/博物館総合調査の結果から)
- III. 美術館・博物館の活動(デジタル・アーカイブの現状と展望)
- IV. 調査研究(日本の博物館史/来館者調査の意識と方法)
- V. 保存・管理(美術館・博物館と防災②)
- VI. 展覧会の実施(海外展の実際/美術館・博物館とバリアフリー/展覧会見学)
- VII. 研究討議

会 期:平成18年1月23日(月)~1月27日(金)

主 催:文化庁、独立行政法人京都国立近代美術館

会 場:京都国立近代美術館

参加者: 澤田佳三(当館主任学芸員)

今井 有(同上)